

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

対象者	2012年から16年までに非小細胞肺癌に対して肺葉切除+ND2a以上を行い、完全切除されたp10症例で、薄切CTとMPR画像を有する755例が対象			
研究課題名	非小細胞肺癌切除例におけるp10症例の予後と臨床病理学的検討			
実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2023年12月			
実施機関	静岡がんセンター			
研究代表者	氏名	永田俊行	所属	静岡がんセンター 呼吸器外科
当院の研究代表者	氏名	永田俊行	所属	静岡がんセンター 呼吸器外科
使用する検体・データ	既存のCT画像と、病理組織標本を使用する。			
目的	原発性肺癌において胸膜浸潤は予後不良因子の一つである。臓側胸膜の豊富なリンパ・脈管が全身への腫瘍進展に関係するとの考えもあるが、なぜ予後に影響するかは明らかでない。また過去の報告でp10と比較してp11・2は予後不良であることは証明されているが、p10の中で胸膜に接する病変に関して十分に検討されていない。今回、p10症例の予後と臨床病理学的特徴について後ろ向きに検討した。			
方法	2012年から16年までに非小細胞肺癌に対して肺葉切除+ND2a以上を行い、完全切除されたp10症例で、薄切CTとMPR画像を有する755例を対象とした。特にp10-pN0の403例に注目し、CTで胸膜と接する病変(A群159例)とその他の病変(B群244例)にわけて予後を比較した。			
倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021年5月28日		
公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
知的財産権	知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属します。			
利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222(内線3379)
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長